

お知らせ

INFORMATION

No.2018-04
2018年2月
病体生理研究所

検査中止および新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- ◆ 便中カルプロテクチン [16815] … 検査実施施設 (S)
- ◆ 脂肪酸4分画 [16415] … 検査実施施設 (M)

※項目情報裏面参照

【受付中止項目について】

- ◆ 便中カルプロテクチン [16814] … お知らせ 2017-30 参照 検査実施施設 (S)
- ◆ 脂肪酸4分画 [17192] … 2017年検査案内 P7 検査実施施設 (M)

《受託開始日》：2018年4月2日（月）受付分より


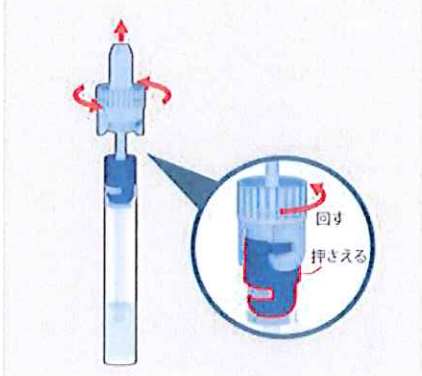
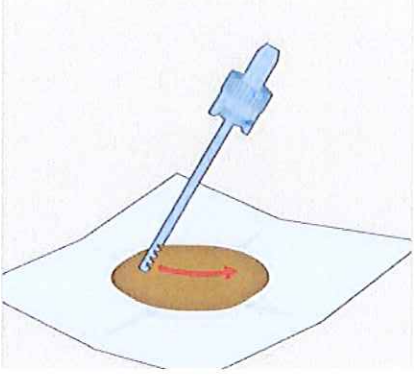
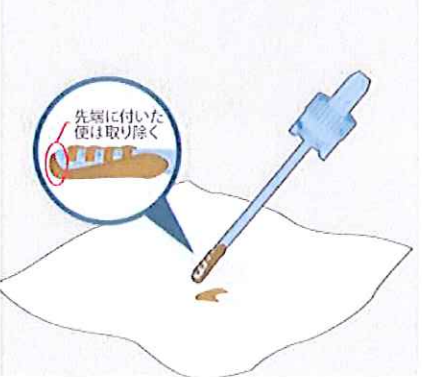
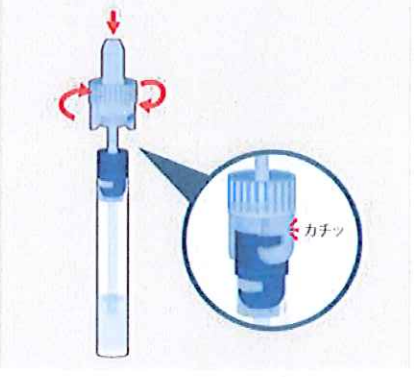
【新規項目情報】

項目名称	便中 カルプロテクチン
コード	16815
検体材料	便
保 存	絶凍
採取容器	No.70 専用容器
検査方法	FEIA
基準値・単位	50.0 以下 mg/kg (潰瘍性大腸炎の内視鏡的非活動状態のカットオフ値は 300 以下 mg/kg)
所要日数	4～9 日
実施料 (区分)	276 点 (D014 27) 【2018 年 4 月からは 276 点 (D003 9)】
判断料	144 点 (免疫学的検査) 【2018 年 4 月からは 34 点 (尿・糞便等検査)】
備 考	<p>他項目との重複依頼は避けてください。O伝票欄外項目扱いです。</p> <p>*算定留意事項</p> <p>ア. カルプロテクチン (糞便) は、区分番号「D014」自己抗体検査の「27」抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体 (MPO-ANCA) の所定点数に準じて算定する。</p> <p>イ. <u>本検査は、慢性的な炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎やクローン病等) の診断補助を目的として、FEIA法により測定した場合に算定できる。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施すること。また、その要旨を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</u></p> <p>ウ. 本検査は、潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、ELISA法又はFEIA法により測定した場合に、3月に1回を限度して算定できる。ただし、医学的な必要性から、病態把握を目的として、本検査を3月に2回以上行う場合 (1月に1回に限る。) には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p> <p>エ. <u>慢性的な炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎やクローン病等) の診断補助又は潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、本検査及び区分番号「D313」大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。</u></p>

炎症性腸疾患の診断補助、潰瘍性大腸炎の病態把握に有用な腸管炎症マーカーです。

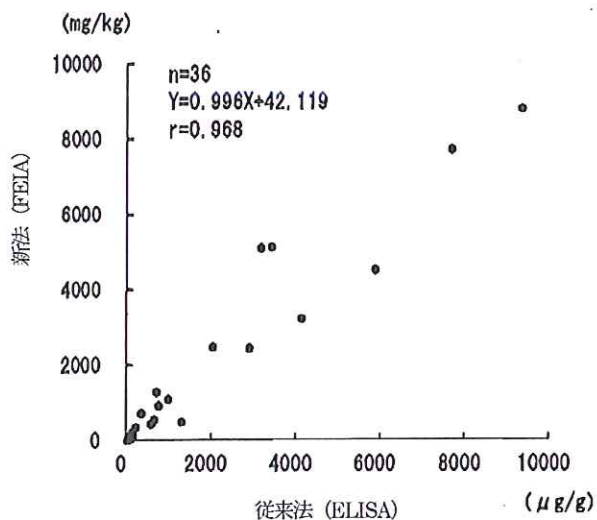
便中カルプロテクチンは、腸管の炎症度を反映する非侵襲性のマーカーです。これまで、保険適用範囲は「潰瘍性大腸炎の病態把握の補助」に限られていましたが、FEIA法で測定した場合、「慢性的な炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎やクローン病等) の診断補助」としても使用可能となりました。炎症性腸疾患が疑われる症例について腸管炎症の有無を判別することで、より効率的な内視鏡検査の実施および診断に貢献することが期待されています。

【専用容器の取り扱い方法】

容器形態	採取方法	
70.便中カルプロテクチン専用容器	<ul style="list-style-type: none"> ●便を採取するまでの間、容器は冷蔵保存して下さい。 ●便の採取は、ご提出日の当日または前日に行ってください。 	
 <p>内容 トリス緩衝液 BSA アジ化ナトリウム (0.1%以下) 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 1年</p>	 <p>1. キャップの青色部分を押しえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。</p>	 <p>2. スティック先端の4つの溝が、充分に埋まるように便をこすり取ります。</p>
	 <p>3. スティックの先端についた便をトイレトペーパー等で取り除きます。</p>	 <p>4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッとはまるまで右に回します。</p>
<p>●注意事項：容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようにご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。</p>		

【新法と従来法の相関】

便中カルプロテクチン



【新規項目情報】

項目名称	脂肪酸4分画		
コード	16415		
検体材料	血清 0.5mL		
保 存	絶凍		
採取容器	1 → 7		
検査方法	LC/MS/MS		
基準値・単位	報告成分	基準値	備考
	アラキドン酸 (AA)	142~307 $\mu\text{g/mL}$	従来報告値は 基準値の変更 はありません。
	エイコサペンタエン酸 (EPA)	12~112 $\mu\text{g/mL}$	
	ジホモ $\cdot\gamma$ -リノレン酸 (DHHLA)	23~72 $\mu\text{g/mL}$	
	ドコサヘキサエン酸 (DHA)	51~185 $\mu\text{g/mL}$	
	EPA/AA 比	0.06~0.44	
	DHA/AA 比	0.25~0.81	新設
	(EPA+DHA) /AA 比	0.30~1.11	新設
所要日数	5~7 日		
実施料 (区分)	429 点 (D010 7)		
判断料	144 点 (生化学的検査II)		
備 考	検査方法その他は従来法と変更ありません。 報告成分新設のため、新規コードの設定となります。		

以上